

新たな指標に関する委員からの提案

- 専用の病棟を持つ児童精神科部門の病院数
- 内服による安易な人工妊娠中絶を回避する必要があるため、薬物服用による妊娠中絶数を把握する必要がある
- 「いいお産」ができる環境を評価する 41 項目及び TBE (Transforming Birthing Experience) 尺度の達成度
- 産科医、助産師が 1 年間に扱う分娩数
- 産科医師数、助産師数については地域格差が問題となっているため、産科医師・助産師数及び活動実態継続調査を実施する必要がある
- 妊娠中の風疹の罹患の可能性等から、母子感染関連ウイルスの抗体検査・保有率を把握する必要があるのではないか
- 産後うつ病発生率低減については、不妊治療妊娠後のうつ病率を把握する必要がある
- 妊娠中の口腔健診については、国際水準に到達していないため実施率を把握する必要がある
- 産後から 1 年ぐらいの女性の健康診断の普及
- 幼児の体力（幼児期の身体運動習慣の形成を示す指標
- 保健師がネットワークのコーディネーター
- 地域の子育て支援ネットワークに小児科医・保健師等が参加
- 子育てや妻の健康に関する父親の認識理解を高める
- 乳幼児を持つ父母のための健康・家族計画の認識・理解を高める
- 食育と併せて子育て生活応援
- 育児休業の取得率（男女別）、労働局から事業主への指導